

# EPS-02Ev3 Ver.3.3.0.0 変更内容まとめ

第1.0.0版

作成日：2023年9月13日

作成：3課 松本

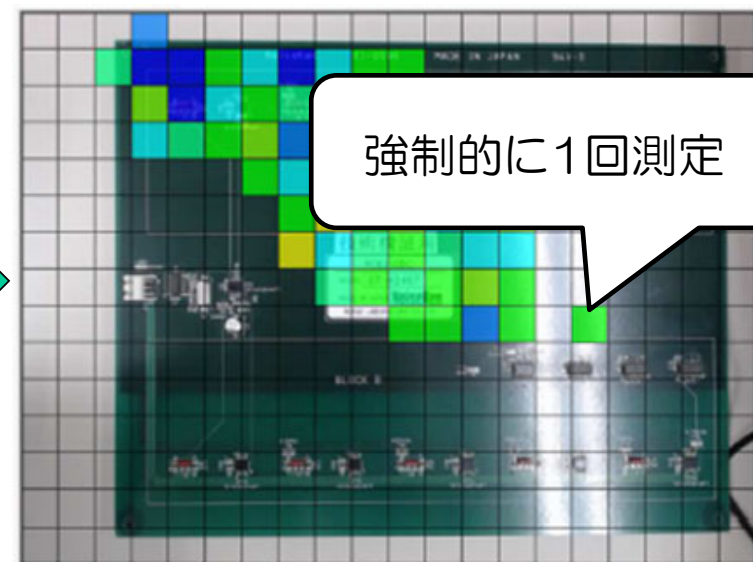
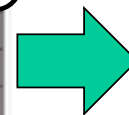
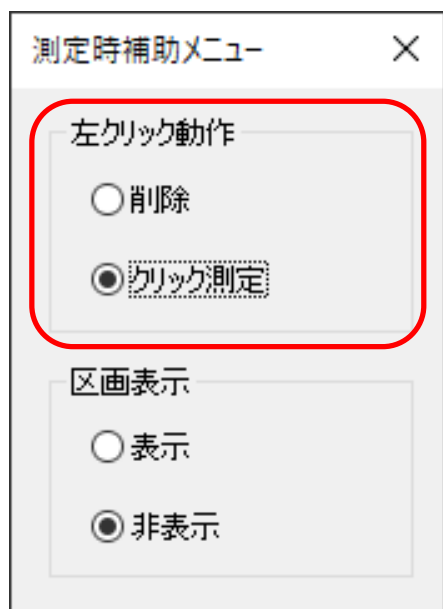
## 測定時補助メニュー追加

- 測定中のみ「測定開始」ボタンの下に「補助メニュー」ボタンが表示され、選択するとメニューが表示されます。



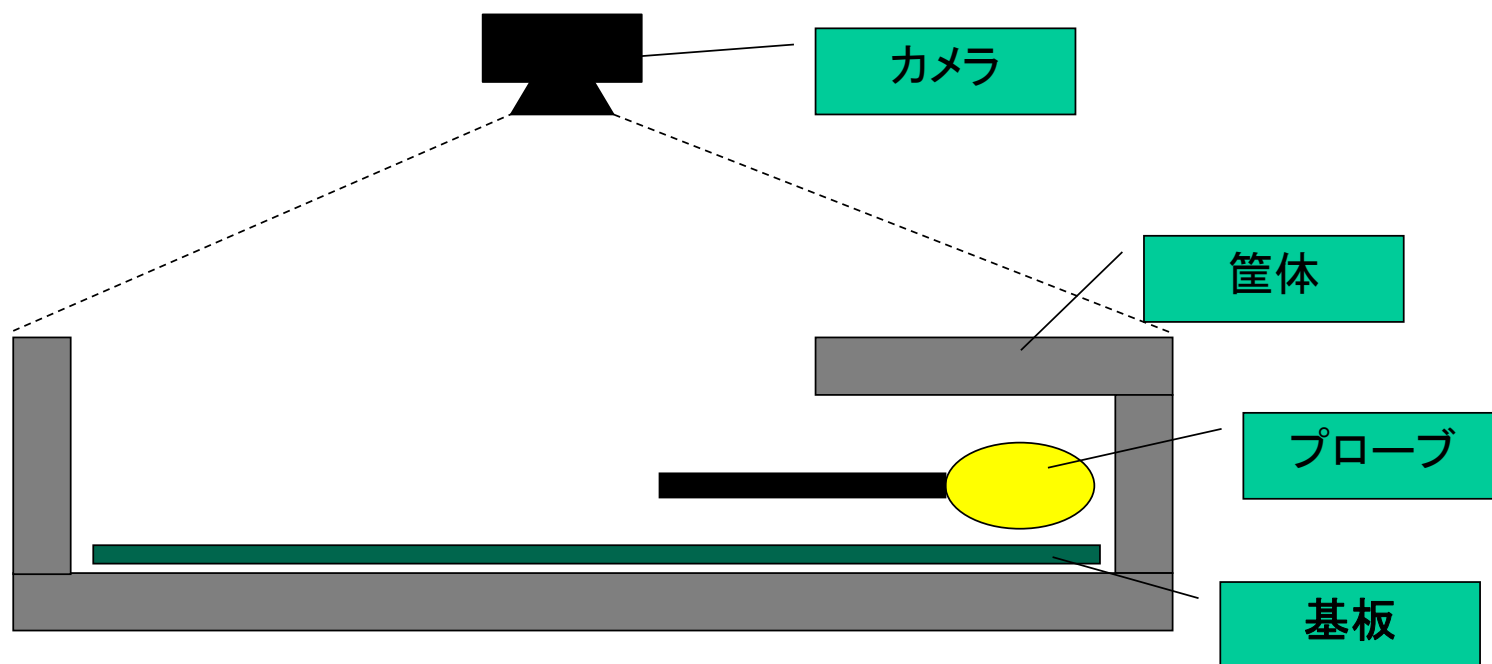
## 左クリック動作（測定時補助メニュー）

- ・削除：クリックやドラッグで削除（従来通り）
- ・クリック測定：クリックしたポイントで1回測定を実施



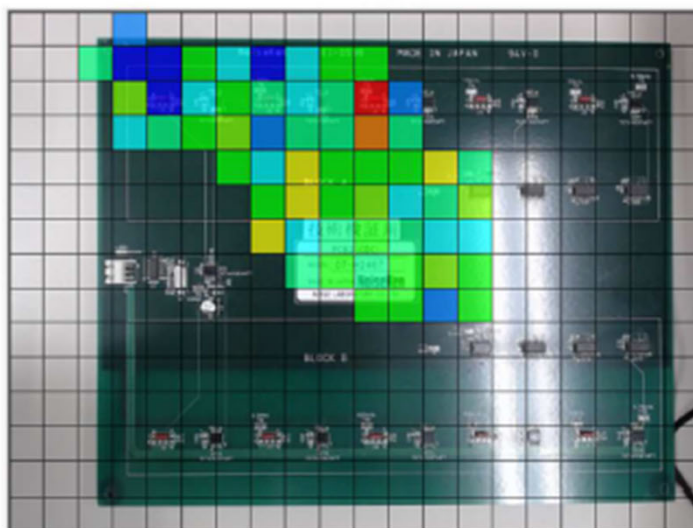
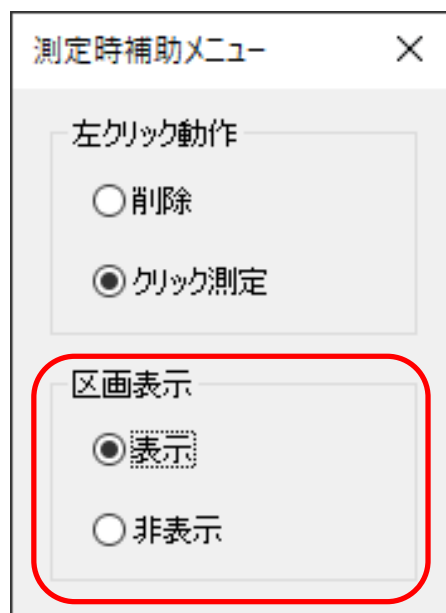
## クリック測定の使用例

- 測定者はプローブの位置が分かるが、カメラには映らないような奥まった場所の測定時に、クリックすることで測定が可能

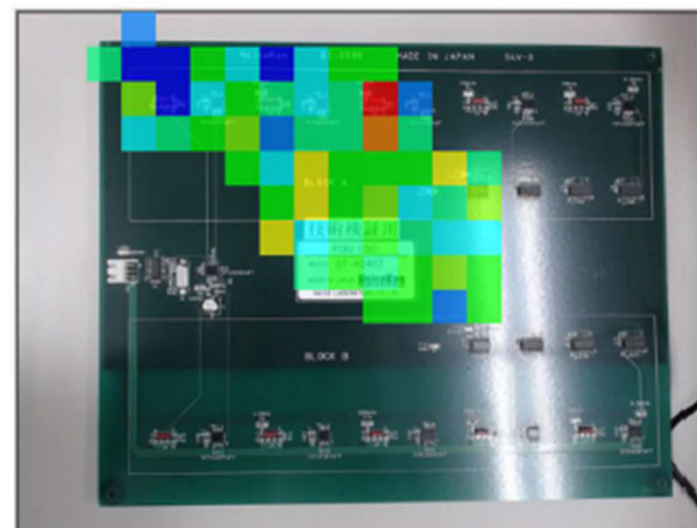


## 区画表示（測定時補助メニュー）

- 表示：測定中も区画を表示  
⇒ 表示することでクリック測定が行いやすくなります。
- 非表示：測定中は区画を表示しない（従来通り）



区画表示時



区画非表示時

## 測定後のデータ削除機能追加

- マップ測定後に削除したいポイントで右クリックして「測定済みマップデータ削除」を選択すると、そのポイントのデータを削除できます。



## データ削除機能の使用例

---

- 測定後に測定対象と関係ない場所を測定していたと気付いた場合に後から削除が可能です。
  - レポート等にまとめる場合に余分なデータを削除することで綺麗に見せることができます。
  - 強度分布の自動割り当ては全データを元に計算しますので、余分なデータを削除することで、必要なデータのみによる自動割り当てとなります。

## タイムドメインスキャンドライバ追加

- 標準ドライバにレシーバESRとESRPのタイムドメインスキャン機能ドライバを追加します。
  - スペアナモードに関しては以前から標準ドライバ
  - レシーバ本体側でオプションのタイムドメインスキャン機能を搭載している必要あり
- タイムドメインスキャン機能を使用することで、間欠ノイズを取りこぼしなく短時間で測定できる場合があります。
- <注意点>EPS-02Ev3の仕様上、ポイント数が6万ポイントを超えると測定できません。タイムドメイン・スキャン機能は周波数範囲とRBW からポイント数が決められ、設定によってはポイント数が制限を超えて測定を開始できない場合があります。